みんなのページ

ネコのユウジロウとつき合って

「はじめて新井家のネコとしてかわれたのが三年前です。ぼくはたんぼの中にうめられていました。それを犬の散歩をしていた方が発見して、穴を掘って出してくれました。」

はじめは2000ｇしかなかったです。最初から人が好きで、気に入った人には、足にからんでいきました。私が朝ごはんの支度が出来ると主人を起こしにいってくれました。それが日常です。主人がなんとなく、疲れていると見にいってくれます。主人が、夜中にトイレに行くと出てくる迄待っていてくれます。本当に役に立ちます。

主人が透析のある日は、バスが迎えに来ますが、乗るまで待っていてくれます。帰りも送ってくれますが、しっかりバスを待っていてくれます。本当に感謝、感謝です。

ネコの好きなしらすがほしいときは、ワンワンと言って催促です。水を飲む時に、コップに氷を入れてやると喜びます。(事務局注:「ネコなのだから「ニャー」と鳴きなさい」と言っても、「ワンワン」と鳴くそうです。)

朝5時になると私の布団の上の方に上ってきます。6時前には毎朝起きます。私がスーパーから帰ってくると出迎えてくれます。私が人工関節の手術をして、一ヶ月で退院したのですが、久しぶりにスーパーに行こうとしましたら、店迄ついて来てくれました。

名前がユウジロウです。皆さんはユーちゃんと声をかけて下さいます。お風呂も入ります。湯舟につかって満足しています。身体がぬれていますが、自分で二時間ぐらいかけて、乾かします。

私が首をさすってあげるとゴロゴロといって喜びます。庭の木にも登ります。細い枝の先迄行くのですが、本人は平気です。

これからもユーチャンと仲良く付き合って私達も長生きしたいと思います。私の家に来てくれて本当にありがとうと言いたいです。これからも病気しないで長生きしてねと言いたいです。

新井英美子さん（埼玉県蓮田市在住）

インターン生ご挨拶

初めまして。今年の6月より環境文明21でインターンをしております吉見稔里（よしみ　みのり）です。私は現在、早稲田大学社会科学部の4年生です。大学では主に政治学や法律学、教育学など幅広く学んでおり、ゼミでは教育格差をテーマに研究をしております。これまで環境問題についてしっかりと学んだことはなかったのですが、私達の生活の基盤である環境について社会人になる前にちゃんと学びたい、と思ったことがインターンへの応募のきっかけでした。

インターンシップが始まる前は自分の大学で関心を持ち学んでいた教育と環境の繋がりをあまり意識していませんでした。しかし、スタッフの方に頂いた資料を読んだり、職員の方々とお話しをさせていただいている現在では、教育と環境問題は繋がっていると感じております。教育の目的は、子ども達が社会で幸せに生きていくことが出来るようにすることではないか、と私は考えています。そのためには、単に知識を学ぶだけではなく、自分達の社会がどうあるべきか、ということについて考え、社会に対して当事者意識を育むことが大切です。そして私たち人間が幸せに暮らすために必要である持続可能な社会について考える際に、環境問題は避けては通れない問題です。それ故、将来の社会を生きる子ども達に環境について教えることは教育の大切な役割であると考えております。

また、私自身、インターンシップを始めてまだ日が浅いですが、これからの社会がどうあるべきなのか、豊かに生きるとはどういうことなのか、ということを以前より考えるようになりました。インターンシップを通して、環境問題について学ぶことはもちろん、より長期的な視点で自分達の社会について視ることができるようになれれば、と考えております。

約8か月間と短い間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。倫理部会等で会員の皆様にお会いできることを心より楽しみにしております。

吉見稔里（2019年度インターン生）

ご投稿をお待ちしています

「みんなのページ」は会員のみなさまの交流の場です。
テーマは問いません。ご投稿をお待ちしています。
メール（kaihou@kanbun.org）または
郵送でお送りください。